

台風21号に関する防災アンケート 回答まとめ
(ファインシティ甲子園・明日区対象)

一般社団法人まちなね浜甲子園 事務局

拝啓

皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

9月4日の台風被害について、9月に住民アンケートを実施致しました。結果として40世帯の皆さまから貴重なご意見を頂くことができました。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

そのアンケート結果をまとめましたので掲示いたします。この街に引っ越して来て、災害によりライフラインが止まるという初めての経験の中で、様々なご苦労をされたことが伝わります。また、その状況での過ごし方や、やっていた良かった対策、困ったことなど、今後の防災対策に活かせる貴重なノウハウがたくさん寄せられました。今回の気づきを忘れず次の防災対策を早速始めて頂ければと思います。また、このアンケート結果をもとに、12月9日(日)に「まちなねボウサイ会議」を開催致しました。防災について学ぶ共に、住民同士で活発な意見交換が行われました。

ご意見やご要望などございましたら、お気軽にまちなね浜甲子園事務局までお問合せください。今後ともよろしく願いいたします。

敬具

<アンケート実施概要>

■実施概要

・主体：一般社団法人まちなね浜甲子園 事務局

TEL：0798-20-0711 Mail:info@machinone.org

・対象：ファインシティ甲子園・明日区に9月1日時点で入居している全140世帯

■実施目的

・新街区住民の災害対応のふりかえりの機会づくり

・住民の声を集約することによる防災ノウハウの共有、各自の備えの促進

・共助(近所で助け合う)の仕組みづくりのきっかけづくり →各管理組合への情報引継ぎ

■アンケート実施スケジュール

・台風21号被害発生：9月4日

・アンケート投函：9月13日→回答期限：9月30日

■アンケート投函数・回答数

・40世帯/140世帯(回答率28.5%)

明日区：6世帯/23世帯中、26.0%、ファインシティ甲子園：34世帯/117世帯、29.0%

<アンケート結果>

1. 停電・断水となって以降、ライフラインが回復するまでの期間の過ごし方は？

○過ごしていた場所

・自宅(周辺含む)で過ごしていた世帯：72.5%(29世帯)

・実家等に避難して過ごした世帯：27.5%(11世帯)

○自宅(周辺含む)での過ごし方

・自宅で片づけ ・すぐ就寝 ・主人が不在でとても不安 ・キャンプ感覚

- ・暑いので廊下を歩いて涼んだ ・近隣商業施設で過ごした ・外を散歩
- ・マンション友の家で過ごした ・近所の人と会話 ・子どもたちと折り紙やトランプ

○灯かり・水・食糧の確保

- ・ランタン、ろうそく、懐中電灯で灯かりを確保 ・近隣スーパーで食糧を調達
- ・飲み水は備蓄していた ・実家から持って来てもらった ・三宮で食糧と水を確保
- ・ガスボンベでたこ焼き ・冷凍パンをグリルで焼いた ・ガスで沸かしてカップ麺
- ・風呂の貯め水を使用 ・食器を洗えないのが困った ・マンションの散水栓から水汲み
- ・トイレを流すのに困った ・トイレはブルーバールの公衆便所を使った
- ・明日区は断水しなかった ・風呂に入り温泉に行った

○情報収集

- ・ラジオを聞いて情報収集 ・近隣の情報がなく困った ・LINE グループでの情報に助けられた
- ・スマホで情報を集めたが充電がなくなった。 ・車でスマホを充電していた。

2. やって良かった対策、あって良かったこと・もの

○備蓄品

- ・キャンプ用ランタン ・長時間ろうそく ・懐中電灯 ・ヘッドライト ・モバイルバッテリー
- ・LED 電池式テーブルランプ用ろうそく ・飲料水のケース買い置き ・ウォータサーバー
- ・冷蔵庫の残り物 ・冷凍食品、カップ麺 ・コーンフレークなど
- ・ガスボンベタコ焼き機 ・離乳食の買い置き ・備蓄（灯かり・水・食糧）があると安心感がある
- ・ハンディ扇風機 ・ウェットティッシュ ・ラップ ・乳児用おしりふき ・保冷剤

○直前の備え

- ・ベランダのものを室内へ ・風呂に水貯め ・お茶の作り置き ・白ご飯を炊き常温でラップ
- ・直前に車のガソリンを入れた ・自転車、ゴミ箱、物干竿を全て家の中へ（明日区）

○その他

- ・近所の方からの開店している店情報 ・グループ LINE での情報が入り助かった
- ・マンション住人同士のコミュニケーション ・マンション下の散水栓が出たので本当に助かった
- ・冷蔵庫は極力あけず腐らずに済んだ

3. 今回特に困ったこと

○断水

- ・水が出ない ・手が洗えない ・歯が磨けない ・食器が洗えない ・洗濯ができない
- ・トイレが流せない（合計 15 名の方が困ったことに挙げた） ・溜め水をしていなかった
- ・夜間に公園のトイレを女性一人で使うのは怖い ・復旧状況が読めない

○停電、暑さ、情報収集

- ・灯かりがない ・冷蔵品が腐る。 ・給湯器も使用できない ・暑い
- ・スマホの充電ができない ・手回しで携帯充電機では充電がたまらない
- ・スマホの充電が切れると情報を得る手段がない ・ライフライン復旧の情報がない
- ・管理事務所が不在でマンションの状況把握ができない ・近所の情報がない

○子育て

- ・赤ちゃんの哺乳瓶や食器を洗うのが大変 ・赤ちゃんのお風呂
- ・赤ちゃんを抱っこしながらの水汲みは大変 ・子どもたちの不安で身動きできない

○その他

- ・機械式のため駐車場から車を出せない ・停電復旧後もエレベーターや駐車場を動かせない
- ・夜にエントランスが開きっぱなしでセキュリティが不安 ・停電が復旧しても水が出ない
- ・備蓄の甘さ ・周辺道路の危険性 ・近隣店舗の営業中止 ・雨戸をつけておけばよかった(明日区)
- ・他住戸のゴミがベランダに入ってきて困った ・バス通りが浸水。ガレキ集め。(明日区)
- ・枝川の水位もあとわずかであふれるほどだった

4. 今後に向けて取り組んでおきたい防災対策

○備蓄品を備える

- ・ペットボトルの飲料水を多めに ・ポリタンク ・浴槽に水を貯める
- ・食糧の備蓄 ・乾パン等 ・離乳食の買いだめ ・簡易トイレ ・ウェットティッシュ ・長靴
- ・モバイルバッテリー充電機、電池式携帯充電機 ・懐中電灯 ・ランタン ・ろうそく
- ・カセットコンロ ・乾電池 ・ラジオ ・ガソリンで動く発電機(明日区) ・手動発電機

○情報収集

- ・家族と避難方法など話し合い ・近所での情報共有
- ・管理人不在時のマンション内防災連絡網(LINE、TEL、メール、ホームページ)
- ・災害時用誰もが書き込めるホワイトボード、張り紙などの掲示板設置。
- ・ライフラインの復旧情報は定期的に発信してほしい
- ・LINE を使っていない高齢者やLINE グループに入っていない人との情報共有 ・

○直前の対策

- ・ベランダの物を片付ける ・災害が来るとわかれば水を貯める ・近くのパーキングに車を移動

○共有設備

- ・災害用ポンプ等、場所や使い方がわからない ・非常用の水の浄化システムの活用。
- ・災害時のライフラインの状況を分かるようにしておく ・給水ポンプ故障の再発防止対策

5. 住民間で災害時の対応を行う防災組織が必要だと感じましたか？

- ・はい：24名(60%) ・いいえ：0名 ・わからない：12名(30%) ・無回答：4名(10%)

6. その他ご意見、共有しておきたい気づき

- ・既存の有志 LINE グループの情報交換がとても役立った。情報の価値だけでなく安心できた
- ・管理人不在時に代理で何かできる組織が必要。管理人が来れない時の対策を考えたい
- ・停電時エントランスが消灯、自動ドアが開きっぱなしなので、夜間が防災面で心配。
- ・仕事などで夫が不在時、不安なのでどこかで住民同士が集まれるようにしたい
- ・災害時に飲料水を作る装置があったはず…。いつ使っているのかどこにあるのか不明
- ・マンション設備が管理人不在時は機能しない ・WILL-UP などの情報共有が大事
- ・強風後に駐車場で機械を動かす判断の基準をつくったほうが良い
- ・停電しても水は出せるように自家発電的なポンプが必要
- ・明日区内の側溝掃除用にクマ手、シャベル、土のうなどの収納倉庫がほしい(明日区)
- ・停電でインターホンがならず、不在かどうかの確認ができない(明日区)
- ・明日区が浸水した時の避難情報がない。甲子園浜小が避難所として閉鎖されていた(明日区)
- ・津波避難場所だが停電時にファイシティ甲子園に入れる？避難経路のレクチャーをお願いしたい
- ・台風発生時はマンション、宅地の看板は撤去すべき

以上